



Hewlett Packard
Enterprise

HP Systems Insight Manager 7.5 Update 1 リリースノート

摘要

このリリースノートでは、HP Systems Insight Manager リリースの内容を紹介し、制限事項について説明します。また、重度の問題と軽度の問題についてその推奨処置を含めて解説します。

部品番号: 601822-596
2016 年 5 月
第 1 版

© Copyright 2003, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development Company LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

VMware® は、VMware Inc.の登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Java および Oracle は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

すべての HP 9000 コンピューター上の HP-UX Release 10.20 以降および HP-UX Release 11.00 以降 (32 ビット構成および 64 ビット構成) は、Open Group UNIX 95 ブランドの製品です。

Intel® および Itanium® はインテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

目次

1 HP Systems Insight Manager リリースノート	4
概要.....	4
アップデートの推奨事項.....	4
オペレーティングシステムおよびデバイス.....	4
拡張機能.....	4
新しいソフトウェアサポート.....	4
新しいネットワーキングのサポート.....	4
新しい CMS および管理対象ノードのサポート.....	5
新しいストレージサポート.....	5
終了したソフトウェアサポート.....	5
前提条件.....	5
2 重要な注意事項.....	6
中央管理サーバー (CMS)	6
SNMPv3.....	6
SNMP パススルー.....	6
エージェントの設定および修復.....	6
ソフトウェア/ファームウェア.....	7
Insight Remote Support.....	8
HP-UX のサポート.....	8
バージョンコントロールレポジトリマネージャー.....	8
Service Pack for ProLiant.....	8
Linux および HP-UX CMS 上の XL サーバーシャーシの関連付け.....	9
ヘルプ.....	9
検索のヘルプ	9
3 問題と推奨処置.....	10
HP SIM.....	10
4 サポートと他のリソース.....	13
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	13
アップデートへのアクセス.....	13
Web サイト.....	14
カスタマーセルフリペア.....	14
リモートサポート (HPE 通報サービス)	14
索引.....	15

1 HP Systems Insight Manager リリースノート

HP Systems Insight Manager 7.5 Update 1 リリースノートでは、機能拡張、新しいサポート、および問題と推奨処置に関する情報を提供します。

概要

HP Systems Insight Manager は、HP ProLiant サーバーおよびストレージの管理に役立つように設計されたシステム管理ソフトウェアです。ソフトウェアの機能については、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual で提供される『HP Systems Insight Manager ユーザーガイド』を参照してください。

アップデートの推奨事項

7.3.x、7.4.x、および 7.5 のバージョンを実行しているお客様は、7.5 Update 1 バージョンにアップグレードすることをお勧めします。

オペレーティングシステムおよびデバイス

このリリースは、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にある『HP Insight Management サポートマトリックス』に掲載されているオペレーティングシステムとデバイスをサポートします。

拡張機能

以下の各項では、新しい機能と、このリリースで利用できるサポートを示します。

新しいソフトウェアサポート

- HP iLO 4 v2.40
- HP Smart Update Manager (HP SUM) v7.5.2
- Network Controller Driver Ethernet (NCDE) 11.40
- HP Service Pack for ProLiant 2016.04.0
- HP Intelligent Provisioning v2.40
- バージョン 7.5 から 7.5.1 へのアップグレード
- 7.3.x、7.4.x、7.5 および 7.5.1 から 7.5.1 へのデータ移行 (SIM 32 および 64 ビット)
- MIB キットのバージョン 10.40
- IE タブ拡張付き Google Chrome 47.0
- HP Insight Remote Support 7.40
- HP Insight Remote Support 7.60
- Microsoft SQL Server 2014 SP 1
- Windows Management Instrumentation (WMI) Mapper 7.5.1
- HP Network Node Manager i (NNMi) 10.10

新しいネットワーキングのサポート

- Gen9 Trusted Platform Module (TPM) 2.0 オプションキット
- HP Flex-10 10 GB 2 ポート 562 SFP+ アダプター (直立型)
- HP Flex-10 10 GB 2 ポート 562 FLR-SFP+ アダプター

- HP FlexFabric 10 GB デュアルポート 556 FLR-T アダプター
- HPE FlexFabric 10 GB デュアルポート 533 FLR-T アダプター
- HP StoreFabric CN1200E-T アダプター
- HP StoreFabric CN1100R 10G BASE-T コンバージドネットワークアダプター
- HPE StoreFabric SN1100Q 16 GB 2-port ファイバーチャネルホストバスアダプター (HBA)
- HPE StoreFabric 84Q 4-port 8 GB ファイバーチャネルホストバスアダプター (HBA)

新しい CMS および管理対象ノードのサポート

- VMware vSphere 6.0 Update 2 管理対象ノード
- VMware vSphere 5.5 Update 3a CMS
- VMware vSphere 5.5 Update 3b CMS
- VMware vSphere 6.0 Update 1a CMS
- VMware vSphere 6.0 Update 1b CMS
- SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 12.1 管理対象ノード
- Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.2 管理対象ノード
- KVM on Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.2 管理対象ノード
- HP-UX 1603 管理対象ノード

新しいストレージサポート

- HP MSA 1040 および 2040 の GL220 ファームウェアでのサポート
- HP 3PAR OS 3.2.2 (StoreServ 8000 および 20000 FC および iSCSI 上)
- HP 3PAR OS 3.2.2 MU2 (StoreServ 7000 および 10000 FC および iSCSI 上)
- HP 3PAR OS 3.2.2 MU2 (StoreServ 8000 および 20000 FC および iSCSI 上)
- HP 3PAR OS 3.1.3 MU3 (StoreServ 7000 および 10000 FC および iSCSI 上)
- HP 3PAR OS 3.1.3 MU3 (F および T クラス FC、および iSCSI 上)
- HP StoreEasy 1650 (Expanded)

終了したソフトウェアサポート

- Internet Explorer 8 ブラウザー

前提条件

今回のリリースに関するハードウェア、ファームウェア、およびソフトウェア要件のリストについては、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にある『HP Insight Management サポートマトリックス』を参照してください。

インストールとアップグレードの前提条件は、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual にある『HP Systems Insight Manager インストール/コンフィギュレーションガイド』に記載されています。

2 重要な注意事項

以下の各項では、既知の問題や制限事項について説明します。

中央管理サーバー（CMS）

ローカルの CMS に、新しいドライバー、ファームウェアエージェントなどのソフトウェアをインストールする場合は、CMS が強制的に再起動されるといった異常な結果を回避するため、十分に注意して計画してください。

SNMPv3

SNMPv3 のサポートと制限事項は次のとおりです。

SNMPv3 INFORM のサポート

HP SIM エンジン ID - 0x8000000b0448502d53494d を使って、SNMPv3 INFORM を HP SIM に送信します。

注記: SNMPv3 を介して **[HP P6000 Command View]** デバイスと **[HP P6000 Performance Advisor]** デバイスを検出するには、エンジン ID を指定する必要があります。また、これらのデバイスから SNMPv3 トラップを受信するために、セキュリティ名、セキュリティレベル、認証または権限の各フィールドにも入力する必要があります。

[HP P6000 Command View] のエンジン ID は一定であり、0x800000e80450363030304356 に設定されています。

[HP P6000 Performance Advisor] のエンジン ID は一定であり、0x800000e80450363030305041 に設定されています。

SNMP トラップ

HP SIM は、カスタム定義のコミュニティ名を取り入れ、それがすべての SNMPv3 トラップに適用されます。これらのコミュニティ名は、AEH（Automatic Event Handling）を使用して v1 フォーマットのトラップとして転送されます。globalsettingsupd.tpl (/config) ファイルにある **[snmpv3_trap_forward_community]** は、デフォルトの public コミュニティ名ではなく、すべての SNMPv3 トラップ転送用のカスタムのコミュニティを定義します。コミュニティ名は SNMPv1 として保持され、SNMPv2 トラップとして転送されます。このフィールドは、デバッグページの **[一般設定]** ユーザーインターフェイスを介して設定します。

SNMP パススルー

HP iLO 4 を介した ProLiant Gen8/Gen9 サーバーの SNMP 検出は、次の 2 つの方法で実行されます。

- iLO 4 で SNMP パススルーオプションを有効にすることで、OS レベルでインストールされた管理プロトコル（SNMP）を使用して、コミュニティ名が一致する場合に OS の情報が収集されます。
- サーバーに HP ProLiant Agentless Management Service をインストールしてから **[HP iLO 4 のマネジメント]** ページで **Agentless Management** を選択することで、**Agentless Management** はサーバーの完全な詳細情報を検出して、サーバーノードと関連付けます。

エージェントの設定および修復

HP Insight Management WBEM プロバイダーがすでにシステムにインストールされている場合は、Linux システム上での CRA（エージェントの設定および修復）は失敗します。HP では、同じシステム上で WBEM と SNMP（CRA によって展開された Linux サポートパックに含まれています）の両方を使用することをサポートしていません。CRA の処理に失敗した場合、ター

ゲットシステムにあるログが表示されます。これは、`/var/hp/log/hpsum_execution_log*` ファイルと `/var/hp/log/localhost/*.txt` ファイル内にあります。

WBEM プロバイダーがすでにインストールされている場合、`localhost\hpsum_detail_log.txt` ファイルは依存関係の競合 `hp-health conflicts with hp-smx` を示します。

ソフトウェア/ファームウェア

HP-UX CMS は以下の機能をサポートしません。

- オフラインファームウェアアップグレード
- OA、iLO、または Virtual Connect へのインストール
- HP バージョンコントロールエージェントを実行していないサーバーへのインストール

ソフトウェアとファームウェアの機能を利用するためには、HP SIM を Linux または Windows システム (Windows の方がよい) でセットアップしてください。

注記: サーバーで **[Trusted Platform Mode]** が有効になっている場合、iLO へのソフトウェアおよびファームウェア展開のインストールは機能しません。

[展開] ⇒ [ソフトウェア/ファームウェアベースライン] ⇒ [ソフトウェア/ファームウェアバージョンの追跡] を選択して HP SPP をオフラインモードでインストールする場合、iLO が内蔵 SmartStart モードで実行されているときに識別タスクを実行すると、余分な iLO が誤って部分的に検出されることがあります。展開タスクの結果が実際の iLO に対しては成功、誤った iLO に対しては失敗と表示されることがあります。この場合、展開は成功を示しています。iLO が内蔵 SmartStart モードでないときに識別をもう一度実行すれば、誤った iLO が削除されます。

HP-UX および HP SIM を介してソフトウェアまたはファームウェアをアップグレードするには、ターゲット上に HP VCA が存在しなければなりません。Linux または Windows CMS からのソフトウェアまたはファームウェアのアップグレードは、OA および Virtual Connect に対して、アップグレード対象のターゲットベースのファームウェアについて実行されます。これらのアップグレードを HP-UX CMS を介して行うことはできません。

ソフトウェアまたはファームウェアのアップグレードがエラーコードを表示することなくただちに失敗する場合は、CMS 上ですでに実行されている HP SUM プロセスのインスタンスがないか確認してください。一度に 1 つのインスタンスだけを実行する必要があります。HP SUM プロセスを閉じ、以下のタスクを実行して操作を再試行します。

- ソフトウェア/ファームウェアのインストール
- エージェントの設定および修復
- システムソフトウェアウィザードの管理
- ソフトウェア/ファームウェアベースラインの管理
- ソフトウェア/ファームウェアバージョンの追跡

ソフトウェアまたはファームウェアをオンラインまたはオフラインモードでターゲットに展開する際に、ターゲットにソフトウェア/ファームウェア (古いバージョン) がない場合、タスクは正常に完了し、ターゲットに最新のソフトウェア/ファームウェアをインストールします。ターゲットにソフトウェアまたはファームウェアコンポーネントがすでにインストールされている場合、タスクはターゲットに最新のソフトウェア/ファームウェアを強制的にインストールします。

Windows システム上で HP SIM を実行して、VMware ESXi オペレーティングシステムを実行するサーバーをリモートから更新します。VMware ESXi を実行する HP ProLiant サーバー用の推奨ドライバーとファームウェアのバージョンの詳細は、**[HP のオンラインデポ Web サイト](#)** (英語) から入手できる VMware ファームウェアとソフトウェアのレシピを参照してください。

い。ファームウェアアップデートについて詳しくは、『HP Service Pack for ProLiant リリースノート』を参照してください。

HP SIM による Virtual Connect ファームウェアのアップグレードの前提条件は、次のとおりです。

1. ユーザー名と工場出荷時パスワード（ハードウェアに印刷）を使って PuTTY から Virtual Connect ファームウェアにログインします。
2. `import enclosure Username=<OA Username>Password=<OA Password>` コマンドを実行して、エンクロージャーのユーザー名とパスワードをインポートします。
3. `show enclosure` コマンドを実行して、エンクロージャーの詳細がインポートされていることを確認します。

Insight Remote Support

HP SIM での HP Insight Remote Support の使用、システム要件、および製品サポートについては、<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs> で Insight Remote Support のドキュメントを参照してください。

HP Insight Remote Support に関するマーケティング情報については、[HPE 通報サービス](#) を参照してください。

HP-UX のサポート

HP-UX は、IPV6 アドレスをサポートしていません。

バージョンコントロールレポジトリマネージャー

HP SIM 7.3 ユーザーは、HP VCRM 7.2.2 またはそれ以前のバージョンを含むカスタムベースラインを使ったエージェントのオンライン展開を実行できません。オンライン展開を実行するには、HP VCRM 7.3.0 にアップグレードする必要があります。カスタムベースラインを使ったエージェントのオンライン展開に関する互換性マトリックスは、次のとおりです。

表 1 互換性マトリックス

HP SIM バージョン	HP SUM バージョン (SIM 内にバンドル)	HP VCRM バージョン
7.5.1	7.5.2	7.5.2
7.5	7.3.0	7.5.0
7.4.1	7.2.1	7.4.2
7.4	7.1	7.4
7.3.2	6.4.1	7.3.4
7.3.1	6.3.1	7.3.2
7.3	6.0.1	7.3
7.3 より前	5.3.6 以前	7.3.4 以前

Service Pack for ProLiant

[Support Pack のアップロード] オプションを使用して HP SPP をアップロードすると、HP VCRM バージョン 7.4.2（またはそれ以前）は HP SPP を無効として表示します。これは、HP VCRM のアップロードコントロールが 100 MB 以上のサイズがあるコンポーネントの処理に失敗しているために発生します。

Linux および HP-UX CMS 上の XL サーバーシャーシの関連付け

Linux および HP-UX CMS 上の XL サーバーの場合、シャーシは HP SIM で検出されないため、シャーシの関連付けは行われません。

ヘルプ

簡体字中国語では、SNMPv3 認証情報ページのヘルプは表示されません。SNMPv3 については、**Hewlett Packard Enterprise Information Library** または http://www.hpe.com/jp/proliantessentials_manual で提供される『HP Systems Insight Manager ユーザーガイド』を参照してください。

ファーストタイムウィザードー検出ヘルプが表示されないことがあります。検出については、『HP Systems Insight Manager オンラインヘルプ』を参照してください。

検索のヘルプ

- **検索では、大文字と小文字は区別されません。**例：「cat」を検索すると、「cat」を含むトピックも「Cat」を含むトピックも見つかります。
- **完全一致と部分一致。**部分的に一致していても関連がなければその単語は見つかりません。例：「cat」を検索すると、「cat」も「cats」も見つかりますが、「category」は部分一致文字列と関連のない単語なので見つかりません。
- **ワイルドカード文字はサポートされません。**例：「cat*」を検索すると、「cats」を含むトピックは見つかりませんが、「category」を含むトピックは見つかりません。
- **キーワードの貼り付け。**複雑なキーワードを入力する場合は、その語を別のウィンドウからコピーして、テキストボックスを右クリックし **[貼り付け]** を選択します。
- **一部の一致は、トピックのメタデータに対するもので、表示可能な内容に対するものではありません。**
- **検索結果で一致する内容がない場合、システムは [検索結果が見つかりませんでした：<検索ワード>] パネルに検索ワードではなく語幹を返します。**たとえば、「Orchestration」という単語の語幹「orchestr」が取り出され、結果には **[検索結果が見つかりませんでした：orchestr]** と表示されます。これは、予期された動作です。

表 2 サポートされる検索オプション

オプション	結果
引用符で囲んだ語句	サポートなし。
AND	2つの単語を入力すると、検索エンジンは、両方の単語を含むトピックと各単語を含むトピックを見つけます。
OR	検索エンジンは、一方の単語だけを含むトピックを見つけます。3つ以上の単語を入力できます。検索ごとに、別々のリストが表示されます。
NOT	サポートなし。
ワイルドカード	サポートなし。
メタデータ	サポートあり。
順位付け	サポートなし。

3 問題と推奨処置

HPSIMは、各バージョンの製品のリリース前に厳密なテストを行っています。HPの最近のテストにより、以下のような注意を要する事項が見つかりました。

HP SIM

- **問題：**HP SIM 7.5.1 上で複数のベースラインを含むローカル VCRM 7.5.2 が構成されている場合、ターゲット上に古い Service Pack for ProLiant を展開しても、最新の Service Pack for ProLiant エージェントが展開される。

複数のベースラインを含むローカル VCRM 7.5.2 の構成後、[展開]->[ソフトウェア/ファームウェアベースライン]->[ソフトウェア/ファームウェアベースラインの管理] ページから古い Service Pack for ProLiant を展開すると、HP SIM 7.5.1 にバンドルされている HP Smart Update Manager 7.5.2 がターゲット上に最新の Service pack for ProLiant を展開します。

この問題は Windows CMS から Windows/ESXi ターゲットへの展開および Linux CMS から Linux ターゲットへの展開で見られます。

たとえば、ローカル VCRM が、HPE SIM 7.5.1 の 2016.04.0 および 2015.10.0 SPP で構成されている場合、HPE SIM 7.5.1 を介して 2015.10.0 SPP が展開されても、ターゲットには 2016.04.0 SPP エージェントが展開されます。

回避策：複数のベースラインを含む Windows VCRM がリモートで構成されている場合には、この問題は見られません。また、ローカル VCRM に含めるベースラインを 1 つにすれば、この問題は解決します。

この問題は、HP SIM 7.5 の次回のホットフィックスリリースで解決される予定です。

- **問題：**HP SIM でのデータ収集の実行中に、**HPE StoreFabric SN1100Q 16 GB 2P FC HBA** アダプターおよび **HPE StoreFabric 84Q 4P 8GB ファイバーチャネル HBA** アダプターを内蔵するサーバーが **ネットワークインターフェイス** テーブルのリストに表示されない。一方、アダプターのドライバーおよびファームウェアのバージョン情報は、DC レポートの **ソフトウェア/ファームウェアベースライン情報** テーブルに表示されます。

この問題は、次回のリリースで解決される予定です。

- **問題：**新しく生成された SSH キーに適切なファイル権限を割り当てる必要がある。OpenSSH のバージョン 7.1 以降では、ユーザーが **ssh-keygen** を使用して新しいキーを作成したら、適切なファイル権限を割り当ててください。ファイル権限は、SSH サービスを再起動する前に割り当てる必要があります。たとえば、`chmod 700 <SSH キー >` コマンドを使用して、ファイル権限を修正します。

注記： `chmod` は、`/bin` にあります。

- **問題：**HP SIM 7.4 から HP SIM 7.5 または 7.5.1 構成にデータを移行しているときに、`mximport` が失敗する。
- **問題：**SLES11 SP 4/RHEL 7.2 オペレーティングシステムで、SNMP がサーバーと iLO の関連付けを検出できない。

推奨処置：SLES11 SP 4/RHEL 7.2 オペレーティングシステムでは、SNMP を介した iLO の水平検出は、サーバーをシリアル番号で表示します。IP アドレスを使用したサーバーの再検出中に、ノードをマージする際に障害が発生します。そのため、新しいノードが異なる UUID で検出されます。

注記： ただし、サーバーと iLO の関連付けは、iLO AMS 検出を介して機能します。

- **問題：** SIM で **[ユーザー定義ラック名]** を変更すると、Onboard Administrator (OA) とエンクロージャーの関連付けが失われる。
Onboard Administrator がその関連付けを使用して検出された後に、SIM のみで **[ユーザー定義ラック名]** を編集すると、SIM が識別プロセスで Onboard Administrator の xml から抽出するラック名が SIM で編集されているラック名と一致しなくなります。このため、OA/エンクロージャーの関連付けが削除されます。
推奨処置： OA の検出後に、SIM で **[ユーザー定義ラック名]** を編集する場合は、識別がトリガーされる前に OA でも同じ項目を更新して、関連付けをそのまま維持してください。
 - **問題：** GL200 以降のファームウェアを実行する MSA 2040/1040 ストレージアレイが、プール容量を不正確に報告する。
推奨処置： この問題を解決するには、MSA Storage Management Utility を使用して、プール容量の情報を取得します。
 - **問題：** **[オンライン ROM フラッシュコンポーネント (Windows 用) — HP Smart アレイ B320i RAID コントローラー]** のベースラインのバージョンとインストールされているバージョンのバージョン形式での不一致。
B320i ファームウェアの場合、インストール済みバージョンが 4.50 として表示されますが、(SPP からの) ベースラインのバージョンおよび (SPP からの) 最新バージョンが 15.10.07.00 (2014.09 SPP または 2015.03 SPP が付属) として表示されます。
原因： 15.x.x.x は、直接コントローラーにロードされている LSI 社からのファームウェアを指します。3.X および 4.X のファームウェアは、RAID モードの場合のコントローラーの HP ソフトウェア側です。そのため、形式に違いがあります。
 - **問題：** CRA (エージェントの設定および修復) を使用して HP SIM (CMS) と iLO 2 (管理プロセッサ) との間の信頼を確立するときに、https 通信が Bad Record Mac エラーによって失敗する。これは、JDK の TLS の実装での問題が原因です。
推奨処置： <SIM-Directory>/config/globalsettings.props にある globalsettings.props ファイルで、プロパティ USE_TLSV1 を true に設定します。HP SIM サービスを再起動します。
-
- 注記：** 推奨処置は、iLO 2 2.29 ファームウェアを対象としています。
-
- **問題：** NonStop OSM イベントビューアのシステムページの **[ツール & リンク]** タブでの HP SIM の起動で、“http”の代わりにhttps を使用する必要がある。
推奨処置： この問題を解決するには、手動で HP SIM サービスを再起動し、パッチのインストール後に、NonStop クラスタを再検出します。
 - **問題：** WBEM イベントが受信されないため、XP7 ストレージアレイの WBEM サブスクリプションが失敗する。
この問題は、次のリリースで解決される予定です。
 - **問題：** Service ProLiant Pack がインストールされている Windows システム上で HP SIM のインストールが失敗する。ProLiant の Service Pack (HP Service Pack for ProLiant バージョン 2014.02.0(B) 以降) がインストールされているシステムで、HP SUM が Cygwin のレジストリエントリを作成することが検出されました。このようなシステムで HP SIM のインストールを試みると、HP SIM のインストールは失敗します。
推奨処置： HP SIM をインストールする前に、次のパスにレジストリエントリが存在するかどうかを確認する必要があります。\\HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Cygwin
エントリが見つかった場合は、削除してから HP SIM のインストールを開始します。
-
- 注記：** この問題は、HP Service Pack for ProLiant 2015.03.0 バージョン使用中には発生しません。
-

- 問題**：Enclosure Manager Firmware バージョン 1.20 およびバージョン 1.30 で、XML 応答の IO モジュールのシリアル番号と一意識別子の返却に問題がある。

説明：IO モジュールのノードは、Enclosure Manager が検出されると自動的に検出されません。Enclosure Manager Firmware の問題のため、Enclosure Manager の検出時に HP SIM の IO モジュールのノードが自動的に検出されません。
- 問題**：Debian OS の検出に関する問題。

説明：Debian OS がインストールされたシステムが検出されると、HP SIM は、ノードで OS 名と OS バージョンを設定しません。これは、ノードのシステムページから確認されます。

推奨処置：Debian OS のバージョンを、**[システムプロパティの編集]** で手動で設定します。OS 名は、ノードのシステムページに表示される **[ハードウェア詳細]** で確認されます。

以下の手順を実行して、OS バージョンを設定します。

 1. ノードをクリックします。ノードのシステムページが表示されます。
 2. **[ツール & リンク]** ⇒ **[システムプロパティの編集]** をクリックします。
 3. **[オペレーションシステムバージョン]** フィールドに OS バージョンの値を入力します。
 4. **[OK]** をクリックします。
- 問題**：Windows 2012 R2 CMS からの展開が失敗する。

推奨処置：CMS 上で Windows Update を実行し、展開タスクを再実行してコンポーネントを展開します。
- 問題**：HP SIM 7.5 が Windows Server 2012 R2 Standard システムにインストールされると、HP SIM の **[バージョン情報]** ページに不正なオペレーティングシステムのバージョン（Windows Server 2012）が表示される。これは、HP SIM と現在統合されている JRE の問題です。この JRE では、Java が Windows 2012 オペレーティングシステムの正しい名前を取得できません。

4 サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトを訪問してください。
<http://www.hpe.com/assistance>
- ドキュメントやサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトを訪問してください。
<http://www.hpe.com/support/hpesc>

収集する情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、およびシリアル番号
- オペレーティングシステムの名前およびバージョン
- ファームウェアバージョン
- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートとログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品には、製品インターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムがあります。ご使用の製品のドキュメントを確認して推奨されるソフトウェアのアップデート方法を確認してください。
 - 製品アップデートをダウンロードするには、次のいずれかにアクセスします。
 - Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[メールニュース配信登録]** ページ：
<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>
 - Software Depot の Web サイト：
<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>
 - お客様の利用権限を確認および更新して、契約および保証をプロファイルにリンクするには、次に示す Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **[More Information on Access to Support Materials]** ページにアクセスします：
<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>
-
- ① **重要:** Hewlett Packard Enterprise サポートセンターを經由して一部のアップデートにアクセスするときに、製品資格が必要となる場合があります。関連する資格を使って HP パサポートをセットアップしておいてください。
-

Web サイト

Web サイト	リンク
Hewlett Packard Enterprise Information Library	http://www.hpe.com/info/enterprise/docs
Hewlett Packard Enterprise サポートセンター	http://www.hpe.com/support/hpesc
Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide	http://www.hpe.com/assistance
サブスクリプションサービス/サポートアラート	http://www.hpe.com/support/e-updates-ja
Software Depot	http://www.hpe.com/support/softwaredepot
カスタマーセルフリペア	http://www.hpe.com/support/selfrepair
Insight Remote Support	http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs
Serviceguard Solutions for HP-UX	http://www.hpe.com/info/hpux-serviceguard-docs
Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス	http://www.hpe.com/storage/spock (英語)
ストレージに関するホワイトペーパーおよび分析レポート	http://www.hpe.com/storage/whitepapers

カスタマーセルフリペア

Hewlett Packard Enterprise のカスタマーセルフリペア (CSR) プログラムは、お客様自身が製品の修理を行えるようサポートするサービスです。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSR が適用されません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

デバイスサポートについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

索引

H

Hewlett Packard Enterprise への問い合わせ, 13
HP SIM エンジン ID, 6
HP VCRM, 8

I

Insight Remote Support, 8

S

Service Pack for ProLiant, 8
SNMPv3 INFORM, 6
SNMPv3 トラップ, 6
SNMP パススルー, 6

V

VCRM, 8

W

Web サイト, 14
 カスタマーセルフリペア, 14

X

XL サーバー, 9

あ

アクセス
 アップデート, 13
アップデート
 アクセス, 13

え

エージェントの設定および修復
 WBEM プロバイダー, 6
 失敗, 6
 設定, 6

お

オンライン展開, 8

か

カスタマーセルフリペア, 14
管理対象ノードのサポート, 5

さ

サポート
 HewlettPackard Enterprise, 13

し

シャーシの関連付け, 9
終了したサポート, 5

す

ストレージサポート, 5

そ

ソフトウェア/ファームウェア

展開, 7

 トラブルシューティング, 7
ソフトウェアサポート, 4

ね

ネットワークのサポート, 4

り

リモートサポート, 14
リリースノート, 4